土川　博　議員

学校関係行事も含め各種行事の見直しを！！

各種イベントや各地区公民館単位の行事、各種団体に所属していると、その活動の行事、子育て中であれば子ども会や保育園、学校行事など各種行事が頻繁に開催されているが、その必要性を見直す時期が来ていると考える。各行事を見ていると、年々参加者が減少し、行事への参加者もスタッフを含めて同じような方が参加しているものもある。町民からは、行事が多すぎて家庭でゆっくり過ごすこともできないとも聞く。特に町関係行事は、意味合いの似たものや方向性が同じものは集約して開催することはできないか。

町長　過去に行事を統合できないかと提案したが、各種団体が主体的に開催されるので難しいという事だったが、消防団については、年間の訓練日数や行事を減らすなどの見直しがされている。いろんな行事が重なって開催され、参加者が少なくなっているのも実態だと思う。しかしながら、各種行事に参加していただくことにより、地域のコミュニティができるメリットもあるので、各種団体へも呼びかけるなか、総合的に判断していきたい。

昨年のヤングフェスティバルとふるさと祭りは同時開催

小中学校の先生も学校関係行事の開催が多いので、忙しすぎて生徒と向き合う時間が取れないので、いじめなどの問題が早期に発見できないのではないか。また子供たちにいろんなことを期待して、結果的に保護者へも負担がかかっていることもあるのではないか。先生が生徒と接する時間をつくるには、学校関係行事のあり方の見直しが必要だと思うがどのようにお考えか。

教育長　全国的に先生が生徒に接する時間が少ないと言われている。県教育委員会としては、学校のスリム化や教職員の多忙感の解消に積極的に取り組んでいる。教師にとって一番の精神的な負担は、児童や生徒及び保護者との関係なので、町教育センターを核に、効果的に教師の実践的な指導力向上と保護者や地域の方との連携を強化し、学校を支援する体制をつくり上げていく。

先生も子供たちと遊ぶことが大事